

日本方言研究会

第100回研究発表会

日時：2015年5月22日(金)

場所：甲南大学 甲友会館

〒658-8501 兵庫県神戸市東灘区岡本 8-9-1, <http://www.konan-u.ac.jp/>

交通：JR 神戸線 摂津本山駅から徒歩 12 分, 阪急神戸線 岡本駅から徒歩 10 分

午前の部 10:00 ~ 12:40

基調講演：日本方言研究会の50年を振り返る

企画展示「方言研究の歩み」紹介

創立50周年記念企画「全国方言 YEAR 方言研究を未来につなぐ」紹介

企画紹介(1) 方言教材の開発と方言教室の開催

企画紹介(2) サマーセミナー：はじめての方言調査

企画紹介(3) 方言を介した地域支援活動

《スライドショー》日本方言研究会の50年

総合司会：日高貢一郎(大分大学名誉教授)

佐藤 亮一(国立国語研究所名誉所員、フェリス学院大学名誉教授)

都染 直也(甲南大学)

松丸 真大(滋賀大学)

中井 精一(富山大学)

久野マリ子(國學院大学)

【ポスター発表】(甲友会館 1F ロビー)

看護場面で学生が理解困難な方言の実態

方言文法全国地図からみる敬語運用の類型

瀬戸内海地域における言語変化の動向—『瀬戸内海言語図巻』との比較を通じて—

関東地方の与格格助詞ゲの起源に関する一考察

「ぐんま方言かるた」を用いた方言教育—実践活動から方言教育を考える— 佐藤 高司・富岡のぞみ

談話調査の有効性—場面設定におけるアスペクト表現—

大分方言談話における二人称代名詞「アンタ」のイントネーションと機能

島民による琉球与那国語の自然談話資料蓄積プロジェクト

司会：新田 哲夫(金沢大学)・三井はるみ(国立国語研究所)

工藤千賀子・渡部菜穂子(弘前学院大学)

酒井 雅史(大阪大学)

峪口有香子(徳島大学)

佐々木 冠(札幌学院大学)

二階堂 整(福岡女学院大学)

松田 美香(別府大学)

山田 真寛(京都大学)

午後の部 13:40 ~ 18:00

【シンポジウム】方言研究の過去・現在・未来

研究動向の分析

第1期 1965-1974

井上 史雄

(東京外国語大学名誉教授、
明海大学名誉教授)

第2期 1975-1984

真田 信治

(大阪大学名誉教授、
奈良大学)

第3期 1985-1994

木部 暢子

(国立国語研究所)

第4期 1995-2004

大西拓一郎

(国立国語研究所)

第5期 2005-2014

小西いずみ

(広島大学)

隣接他分野の研究動向と方言研究との接点

文献国語史

青木 博史

(九州大学)

社会言語学

松本 和子

(東京大学)

民俗学

島村 恭則

(関西学院大学)

司会：日高 水穂

(関西大学)

《企画展示》方言研究の歩み (甲友会館 2F ラウンジ)

18:15 ~ 20:00 懇親会：甲南大学 5号館 1F カフェ・パンセ (会費：一般 5,000 円, 学生 3,000 円)

【お問い合わせ先】 日本方言研究会事務局 E-mail: hougen-jim@e-mail.jp <http://dialectology-jp.org>